

平成28年度 新発田・北蒲体育部 活動報告

部長 安倍 友司

1 研究主題

「学習指導要領の趣旨を踏まえた体育学習の在り方について」

2 研究主題設定の意図

学習指導要領の高学年「器械運動」領域におけるマット運動の指導においては、すべての児童が運動の楽しさや喜びに触れることができるよう、技に関連した易しい運動を取り入れたり、易しい場や条件のもとで段階的に取り組めるようにしたりすると示されている。マット運動では、自分の技ができたかどうかを主観で判断することは難しい。したがって、マット運動のできる楽しさや喜びを確実なものにするため、客観的な判断をもとに技の習得をしていくことが求められる。そこで、班の仲間とで協力し、技のポイントを見合いながら台上前転ができるようになって欲しいという願いから、授業研究を通して、場やワークシート、映像等の工夫についての有効性を検証した。

3 事業の実際

○第1回小教研専門部会「活動計画立案」 4月8日（金） 亀代小学校

○第2回小教研専門部会「実技講習」 6月3日（金） 紫雲寺小学校
講師 江口 憲子 様（とらい夢）
内容 「器械運動～側方倒立回転、倒立～」

○第3回小教研専門部会「授業研究」 11月1日（月） 紫雲寺小学校
単元名 5年「器械運動～マット運動～」
授業者 白井 裕貴（紫雲寺小学校 教諭）
指導者 丸山 明生 様
（新潟市立白南中学校 校長）

<概略>

研究授業では、5年生の児童が開脚前転の技のポイントをとらえ、班の中でポイントをチェックし合うことで開脚前転ができるよう指導を行った。

【授業の流れ】

- ① 技のポイントをワークシートや映像を見て、確認する。
- ② 班に分かれて、ポイントを意識しながら練習する。
- ③ 班の中で、技のポイントを見合いながらアドバイスを送る。
- ④ 全員の開脚前転をビデオで撮り、自分の技の出来を見て、振り返る。

技の視点をワークシートで示し、映像でも確認したことから、子どもたちは班の人に、「1番はできていて、2番はもう少しだよ。」といった具体的なアドバイスを伝えることができた。

最後には、全員が開脚前転を披露し、映像に撮った。その映像を全員で見て、うまくできる人を見て学んだり、あと少しの人へアドバイスを送ったりした。

指導者からは、学習指導要領の趣旨を踏まえた器械運動の指導だけでなく、よりよい授業づくりをする上で大切な視点や、マット運動に対する教師の捉え等についてもご指導いただいた。



4 成果と課題

器械運動のマット運動では、6年間を見通した指導計画や指導内容が必要であることが分かり、実技講習、授業研究を通して具体的にマット運動について学ぶことができた。授業研究で明らかになった課題をもとに、各学校でさらに実践を重ね、器械運動のマット運動の充実につなげていく。